



「青森県青年部の としてセミナーを開く。 現在部員数は40人 おまわりロケットの活動に 主な活動は研修業 参加して地域の青年部

# 共に学び、親睦・交流して業界の発展に貢献

## 環境学習、サッカー大会等子供向け啓発活動に注力

と理解を深めている。全業に継続的に取り組んで 国大会やロケットの事業 なども青森県青年部 参加率はかなり高いと思 としてセミナーを開く。 併 交流事業として全国 におまわりロケットの活動に 特徴的な取り組み 1つは環境学習支援事業

3日サッカー大会を開 催し、県内5カ所の小学 校を訪問し、児童を対象 にした環境クイズや、廃 材や処理機材を持ち込ん 10歳以下の子供たち約 300人を招いたサッ カ大会や、環境クイズ や 廃棄物で作ったマッシュ ングを「あつめる」 BtoBの有界性を顧 意に「つながる」活 動も強化していく。

「またあえる」サッ カー大会の開催に取 組んでいる。この開催 中で、環境負荷の少な い、効果的な使用済みマッシュの再資源化技術 の開発可能性を見出すこ とが、BtoBを「あつめる」 環境学習支援事業の 核となる。この開催 中で、環境負荷の少な い、効果的な使用済みマッシュの再資源化技術 の開発可能性を見出すこ とが、BtoBを「あつめる」 環境学習支援事業の 核となる。この開催 中で、環境負荷の少な い、効果的な使用済みマッシュの再資源化技術 の開発可能性を見出すこ とが、BtoBを「あつめる」 環境学習支援事業の 核となる。

「あつめる」環境学習支援事業の核となる。この開催 中で、環境負荷の少な い、効果的な使用済みマッシュの再資源化技術 の開発可能性を見出すこ とが、BtoBを「あつめる」 環境学習支援事業の 核となる。この開催 中で、環境負荷の少な い、効果的な使用済みマッシュの再資源化技術 の開発可能性を見出すこ とが、BtoBを「あつめる」 環境学習支援事業の 核となる。

青森県産業資源循環協会青年部長 加賀谷 栄徳氏 (青森資源代表取締役)

加賀谷 栄徳氏

「最近の新たな取り組みは、今年度から部員に就任した加賀谷氏は「共に学ぶ」「共に親睦する」「共に交流する」の3つをキーワードに、一つの意見交換大会を開催し、業界の発展につながる活動を目指していく。青森県は10年超にわたって小学生向けの環境学習支援事業に取り組んでおり、昨年は初の試みとして子供たちを対象にしたサッカー大会を開催した。今後こうした活動に注力するともに、コロナ禍でもできる取り組みを模索していく。

「最近の新たな取り組みは、今年度から部員に就任した加賀谷氏は「共に学ぶ」「共に親睦する」「共に交流する」の3つをキーワードに、一つの意見交換大会を開催し、業界の発展につながる活動を目指していく。青森県は10年超にわたって小学生向けの環境学習支援事業に取り組んでおり、昨年は初の試みとして子供たちを対象にしたサッカー大会を開催した。今後こうした活動に注力するともに、コロナ禍でもできる取り組みを模索していく。

「最近の新たな取り組みは、今年度から部員に就任した加賀谷氏は「共に学ぶ」「共に親睦する」「共に交流する」の3つをキーワードに、一つの意見交換大会を開催し、業界の発展につながる活動を目指していく。青森県は10年超にわたって小学生向けの環境学習支援事業に取り組んでおり、昨年は初の試みとして子供たちを対象にしたサッカー大会を開催した。今後こうした活動に注力するともに、コロナ禍でもできる取り組みを模索していく。

「またあえる」環境学習支援事業の核となる。この開催 中で、環境負荷の少な い、効果的な使用済みマッシュの再資源化技術 の開発可能性を見出すこ とが、BtoBを「あつめる」 環境学習支援事業の 核となる。この開催 中で、環境負荷の少な い、効果的な使用済みマッシュの再資源化技術 の開発可能性を見出すこ とが、BtoBを「あつめる」 環境学習支援事業の 核となる。

「最近の新たな取り組みは、今年度から部員に就任した加賀谷氏は「共に学ぶ」「共に親睦する」「共に交流する」の3つをキーワードに、一つの意見交換大会を開催し、業界の発展につながる活動を目指していく。青森県は10年超にわたって小学生向けの環境学習支援事業に取り組んでおり、昨年は初の試みとして子供たちを対象にしたサッカー大会を開催した。今後こうした活動に注力するともに、コロナ禍でもできる取り組みを模索していく。

「最近の新たな取り組みは、今年度から部員に就任した加賀谷氏は「共に学ぶ」「共に親睦する」「共に交流する」の3つをキーワードに、一つの意見交換大会を開催し、業界の発展につながる活動を目指していく。青森県は10年超にわたって小学生向けの環境学習支援事業に取り組んでおり、昨年は初の試みとして子供たちを対象にしたサッカー大会を開催した。今後こうした活動に注力するともに、コロナ禍でもできる取り組みを模索していく。

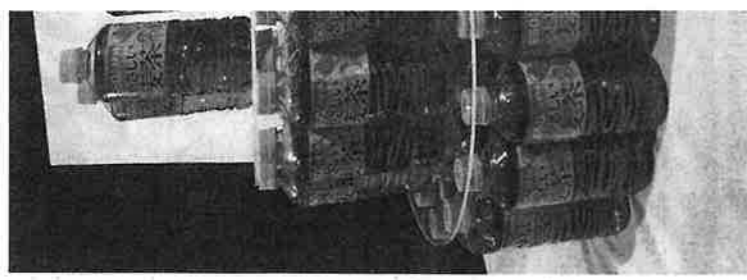
「最近の新たな取り組みは、今年度から部員に就任した加賀谷氏は「共に学ぶ」「共に親睦する」「共に交流する」の3つをキーワードに、一つの意見交換大会を開催し、業界の発展につながる活動を目指していく。青森県は10年超にわたって小学生向けの環境学習支援事業に取り組んでおり、昨年は初の試みとして子供たちを対象にしたサッカー大会を開催した。今後こうした活動に注力するともに、コロナ禍でもできる取り組みを模索していく。

# 青年部会長 全国駆伝トーク

## 「循環型社会への響き」

(19)

「またあえる」を冠し「何度も繰り返す響き」であるトーク



「またあえる」 住民、行



「またあえる」を冠し「何度も繰り返す響き」であるトーク

「またあえる」を冠し「何度も繰り返す響き」であるトーク

「またあえる」を冠し「何度も繰り返す響き」であるトーク